

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名	新	農業DXプラットフォーム検討事業費
------------	----------	--------------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農政課スマート農業推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2809)

E-mail： c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,405千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,405	0	0	0	0	0	0	0	6,405
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

高齢化や人口減少が進み、農業経営体の減少が深刻化する中、県農業を維持・発展させるには、今まで見えなかった経験等から得られる技術をデジタル化し、活用することで、大幅な増収や高品質化を実現するなど、農業に革新的なイノベーションをもたらすDX (デジタルトランスフォーメーション)を進めることが重要となっている。加えて、国策定の「みどりの食料システム戦略」で示す、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する取組を強力に進めるため、その基盤となる農業DXプラットフォームについて検討する。

(2) 事業内容

- ・農業DXプラットフォーム検討会の設置
農業に関係する様々なデータを結び付け、有益なデータとして活用できる一気通貫のプラットフォームに係る検討会を設置する。
- ・プラットフォーム構築のための実態調査
農業者の環境モニタリング機器の導入状況や、プラットフォーム運用時の県、農協、農業者等が扱うデータ等の実態調査を行う。

- ・農業DX指導者育成
データを使いこなす生産者を指導できる普及指導員を育成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

農業DXプロジェクトを進めることで、本県の飛躍的發展を目指すものであり、農業のDXにより生産体系のみならず行政のDX化も含め進めることから県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	558	有識者謝金、講師謝金
旅費	132	費用弁償
役務費	160	タブレット通信費
業務委託料	4,184	実態調査業務委託
使用料	345	検討会会場使用料
備品費	850	タブレット端末
負担金	176	WEB研修会受講料
合計	6,405	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023年度）
II-3-(3)-② 「未来につながる農業づくり」の推進
- ・ぎふ農業・農村基本計画（2021～2025年度）
第6章 将来像達成に向けた取組み
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019～2023年度）
重点施策（4）技術の普及
- ・岐阜県DX推進計画（仮称）（2022～2026年度）

(2) 国・他県の状況

高知県では既にプラットフォームの運用を開始。

広島県で同様の事業を令和3年度から開始。

今後大規模な産地を持つ都道府県で同様の取組みが展開される見込み

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 令和8年度までに本県農業DXを推進する体制を構築するとともに、データを活用できる農業者、指導者を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
スマート農業技術導入経営体数	168	345	370	455	550	63%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>2 農業DXプロジェクトを進めることで本県農業の飛躍的发展を目指すものであり、必要性が高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本県農業の発展には、農業DXの取組を強力に推進する必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本県農業の飛躍的发展を図るための農業DXプラットフォームについて、今後の継続した取組が必要である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	